

臨時休校期間延長下の生徒の皆さんへ

政府が発表した緊急事態宣言の対象が全国へ拡大され、愛知県も「特定警戒都道府県」となっています。その際、臨時休校期間が5月6日までとなっていましたが、それが今回さらに延長されました。全く先が見えない状況ではありますが、学校再開のその日まで家庭でしっかり学習をしていてください。

本校では、4月22日以来ホームページ上で様々な学習支援の方策を講じています。皆さんは、その中ですでに指示されている追加の課題に取り組んでいることと思います。今後は、各学年のページからNHKの高校講座のプログラムを活用した家庭学習もスタートさせていきます。各学年の各教科科目から指定されたプログラムを各自が視聴して学習をし、本日家庭に届いている「振り返りシート」や「ワークシート」を活用してそれぞれが学習に取り組んでください。さらに、今回このNHKの高校講座のプログラムを利用しない教科科目については、新たな学習教材が同梱されています。着実に家庭学習を進めてください。また、本日指示されているこれまでの学習成果物（前回までの課題）の学校への返送についても遅れることなく確実に返送してください。

以前から何度も皆さんにお話をしており、この休校期間中の家庭学習を本当に有意義なものとしてください。今までの学習の遅れを取り戻すだけでなく、今後学校が再開してからのスタートダッシュがうまくいくことを意識しながら、毎日時間割表に沿って計画的な学習と「学年プラス2」時間以上の“ $+\alpha$ ”の学習にしっかり取り組んでください。

最後に、先日の中日新聞朝刊に掲載されたコラム記事のコピーを裏面に添付しておきます。大変興味深い内容でしたので皆さんにもぜひ読んでほしいと思います。今、全国の高校生が同じ境遇にいます。この苦境を乗り越えて、輝く未来を手にするために「高い理想と、絶えざる努力」のもとに日々の学習を積み重ねていってください。

令和2年5月1日

愛知県立一宮北高等学校長 牧野文輔

宮下卓也さん(39)

河合塾英語科講師

家庭で どう過ごす?

初めての大学入学共通テストまで九カ月を切りました。共通テストの試行調査(プレテスト)では、英語問題の単語数がこれまでの大学入試センター試験と比べて約千語増えました。限られた時間で長文を読み解く力が重要です。長文読解では、一文ずつ的確に捉えることが欠かせません。主語と動詞を把握し、前置詞や関係代名詞などが導く



最低5時間 勉強しよう

「句」や「節」を理解する必要がある。単語だけでなく、文法や語法などをバランス良く鍛えないと解けません。高校で配られた教科書や副教材の復習に取り組んでください。

共通テストでは、リスニングの配点が増します。英文を見ながら音声を聞き、聞き取れなかった部分に印を付けて音読するのがおすすめです。声に出した方が身に付きますよ。志望校の過去問題や公表されているプレテストに目を通すのもいいでしょう。

休校でなければ一日五時間は高校で授業を受けているので、英語を含め、最低でも同じ時間は机に向かうべきでしょう。休校中の取り組み次第で、学力に差がつくのは間違いありません。不安に感じる人が多いかもしれませんが、日々の積み重ねが不安を打ち消し、自信になります。

(談)